



マツバギク(白)



ゼラニウム



アジサイ  
(フェアリーアイ)



マツバギク(赤)



アジサイ  
(伊豆の踊り子)



マツバギク(黄)

リュウゼツランは、数十年かけ成長した後、一度だけ花を咲かせ枯死してしまいます。花茎は、一日に10センチ程成長し、2ヶ月程で高さ10メートルになるものもあります。本年は、5本の花茎が伸びております。7月には、花を見ることができませんので、ご期待ください。

## リュウゼツラン (竜舌蘭)

5月14日



5月26日



生け花をやる人が少なくなったように思う。一昔前までは、生け花を嫁入り道具のひとつとして、手習いをした女性も多かった。昨今は、アレンジフラワーや寄せ植えなど、花の楽しみ方がだいぶ変わったこともあって、生け花をやる人がすくなくなったのかもしれない。

最近、某テレビ番組で、タレントに季節の花を題材として自由に生け花をさせる、それを華道家で有名な假屋崎省吾が評価するものがあった。才能あり普通才能なし、と採点するものであるが、後で假屋崎省吾が、足し算、引き算と言いながら手直しを施す。一本入れただけで見栄えが格段高くなり、また一本抜いただけでもスッキリ全体がまとまるので、見ていて実に面白いと思う。花を生かすもこるすもどのようにきれいにさせるか、そこに生け方の技術がありいかに人の心を魅了するかが華道というものだろうと思う。今年も夏近し！アジサイがここ一番とばかり、御前崎エコパークに咲きだした。

御前崎エコクラブ会員家族 小澤光江